

Estuary 053



エスチユアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチユアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

いしかり
砂丘の風資料館

紀要 vol.7 のロンブン、pick up!

「キョウ」って、なんだべ？ 石狩の自然や歴史を何十年、何百年先の未来に伝えるための大事な記録「論文」をまとめた冊子です。カタ〜い文章で書いてるけど、例え話を使ったり、感想を書くなると、許されないのです。誰が読んでも、何百年後でも、同じように理解されないとダメだから。

今年、石狩ではどんな発見があった？ 春に刊行された第7巻から、この論文をPick up!!

2016年の北海道石狩湾沿岸におけるコウイカ殻の漂着 (志賀健司) pp.1-6.

Q. これってどんな研究？ ズバリ一言で言うと？

志賀「2016年秋、石狩湾の浜辺にこれまでにないほど多くのコウイカの殻が流れ着きました。そこで浜を歩き回って拾い集めて、大きさも測りました。その結果、ホントにこれまでにないほど数が多かったこと、同じような殻に見えても5種類いること、がわかったんです。」

Q. コウイカって、あの食べるイカ？

志賀「北海道ではほとんど獲れないので馴染みは薄いけど、本州ではメジャーな魚介類ですね。」

Q. イカに殻があるの？

志賀「胴体の中にサーフボードのような形の「甲」があります(写真右)。スルメイカなんかでも、中に透明なスジが入ってるでしょ？ あれと同じ。コウイカの甲、つまり殻は白い石灰でできていて、ウエハースのように隙間だらけなので、軽くて水に浮きます。」

Q. それがたくさん流れてきたと。でも、それが何か？

志賀「北海道でほとんど獲れない、というのは、暖かい海の生物だから。それが北海道にたくさん漂着した、ということは、水温が上がったとか、暖流が強いのとか、何かしら海の変化があった、ということです。」

Q. 前にアオイガイでも同じこと言ってましたよね？

じゃあアオイガイを調べれば十分じゃないの？

志賀「アオイガイ(殻を持つタコ。暖かい海にいる)の殻も、海水温が高くなると北海道で漂着が増えます。で

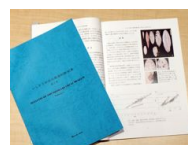
もちょっと“しくみ”が違いますよ。アオイガイは死ぬと殻は沈んじゃうけど、コウイカは殻だけでもずっと浮かんで流される。アオイガイは水面下にいるけど、コウイカ殻は浮いてるから、風の影響も強く受ける。実際2016年は、アオイガイの漂着は少なかった。この2つには、違う情報が隠されてるんですよ。」



漂着コウイカ殻

Q. この研究に、つづきはあるの？

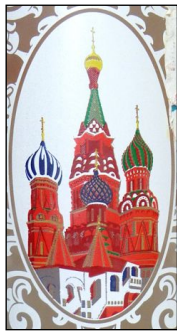
志賀「今回、マジメにコウイカを調べてみて、おもしろいことに気づきました。ほとんどの殻に“誰か”の歯型が残っていたんです。一列に並んだ丸い穴、カッターで切り裂かれたような傷、V字形の切り込み…。コウイカを食べた犯人がどこの誰かを突き止めれば、海流の変化のようすも、もっと詳しく見えてくるんじゃないかな、と考えてます。」◆



「いしかり砂丘の風資料館紀要」は、石狩市民図書館などで読むことができます。資料館webからもPDFファイルをダウンロードできます。

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/publication.html>

～はるばるやって来る～
ロシアからの漂着物



日本海に面した石狩の浜では、南からの海流や北西の季節風に乗って漂着した海外製品を見ることができます。資料館に展示されている漂着物にも、韓国語、中国語、ロシア語の書かれたものがあり、よく見るとなかなか興味深いものです。

ロシア語の書かれたもので最も多いのは、飲み物の容器です。ウォッカ瓶やミネラルウォーターのボトル、クワスという発酵飲料の容器もありました。興味深い点は、ミネラルウォーターにはサハリン製のものとウラジオストク（沿海州）製のものがある点です。製造場所とそのボトルが元々あった場所が同じであるとは限りませんが、もしかしたら、これらのボトルは異なる旅路を経て石狩へたどり着いたのかもしれない。

調べる中でやや危険なものを発見しました。ロシア製殺虫剤の缶です。表側にジクロロボスという劇薬の名前が書かれています。調べると穴が開いていて中身はなくなっていました。海外からの漂着物は外国の生活や環境を感じる機会を与えてくれるだけでなく、海流や風の動きを教えてくれるものですが、十分に注意して観察したいですね。◆

(神田いずみ かんだいずみ)



体験講座

サケ切身骨格標本をつくる

焼サケの中にも生命の進化が隠れている!? 食卓でおなじみのサケですが、骨をじっくりと観察したことはありますか? スーパーで売っているサケの切身から骨を取り出し、きれいに処理して学名ラベルを付ければ、立派な部分骨格標本のできあがり!

- 日時 9月30日(土) 12:00～17:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人
- 定員 10人(先着順)
- 持ち物 サケ切身(大きい骨の入っているもの。調理して当日食べられる状態で。)
- 参加無料
- 申込 9/1(金)～9/27(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

9月開催

CISE サケサイエンス・テリング2017
 させわとわーく **サケ博士になろう!**
 ※テリングの詳細は北海道大学総合博物館(CISE事務局)までお問い合わせください。



テーマ展

土器文様の不思議
 —石狩市内の遺跡から—

石狩市内の遺跡から出土した縄文文化・続縄文文化・擦文文化の土器を展示します。土器の形や文様にはいろいろな特徴がみられます。今回は各時期にみられる土器の文様を中心に、当時の人々のものづくりの技に迫ります。



- 期間 9月20日(水)～11月6日(月)
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

9月開始

■石狩市広報に連載「いしかり博物誌」

第149回(2017年5月号)
 不老不死のクラゲ

第150回(2017年9月号)
 漂着した魚たたき棒

石狩市広報のPDFから読めます↓
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/publication/publication_top.html

2017年の講座・展示

講座

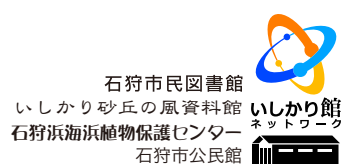
種類	講座名	開催日	場所
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／春の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	4月23日(日)	石狩浜、砂丘の風資料館
体験講座	テンキ作りーハマニンニクを編む アイヌの工芸品「テンキ」を作ります。	7月22日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	勾玉作り 古代のお守り・装飾品の勾玉を作ります。	7月29日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	縄文文化のくらしをジオラマで作ろう 縄文文化のくらしをミニチュア模型で作ります	8月5日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	サケ切身骨格標本をつくる サケの切身から部分骨格標本を作ります。	9月30日(土)	砂丘の風資料館
トークイベント	ウミベオロジー／石狩海辺学2017 海と陸との境界、海辺。その不思議や魅力を語ります。	10月21日(土)	紀伊國屋書店札幌本店
体験講座	縄文土器の文様を作ろう 縄文土器を観察し、粘土に文様のしくみを再現します。	10月28日(土)	砂丘の風資料館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／秋の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	10月29日(日)	砂丘の風資料館
体験講座	フライドチキン骨格標本をつくる フライドチキンから部分骨格標本を作ります。	12月16日(土)	砂丘の風資料館
連続講座	石狩大学博物館学(全2回、4科目) 石狩の自然や歴史について、最新の研究成果を紹介。	1～2月予定(土)	石狩市民図書館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／冬の家辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	2月予定(日)	石狩浜、砂丘の風資料館

展示


種類	展示名	開催期間	場所
テーマ展	プラスチックの中の海辺	4/28～6/25	砂丘の風資料館
テーマ展	アリジゴク!～石狩砂丘で生態を暴く～	7/8～8/27	砂丘の風資料館
テーマ展	土器文様の不思議ー石狩市内の遺跡からー	9/20～11/6	砂丘の風資料館
ミニ展示	石狩の菓子木型展	9/23・9/24	砂丘の風資料館 旧長野商店内
テーマ展	資料館のお宝2018	12月下旬～3月	砂丘の風資料館

※講座は申込が必要です(一部を除く)。
※日程・内容は変更になることがあります。

詳しくは、砂丘の風資料館ホームページ、
石狩市広報誌などをご覧ください。


 石狩市民図書館
 いしかり砂丘の風資料館
 石狩浜海浜植物保護センター
 石狩市公民館

→石狩市内の「○○館」4つがタッグを組んで、
みなさんの生涯学習活動をサポートします!


 …って?
 →札幌周辺の博物館や動物園、
図書館などがコラボ!
 ホンモノの標本をたくさん使って
自然や環境の教育をススメます!

2017年 夏の講座・展示

体験講座

テンキ作り
—ハマニンニクを編む



石狩の海辺にみられるハマニンニクを材料に、アイヌの工芸品「テンキ」作りに挑戦します。テンキはハマニンニクで作られた入れ物のこと。多くは小かごですが、中には帽子を作ったものもあります。今回は、「小かご」または「ミニチュアのカンカン帽」のどちらかを当日に選んで作ります（大きさはどちらも直径8cmくらいです）。自由研究にもご利用ください。

- 日時 7月22日(土) 10:00~16:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生~大人(小学生は保護者同伴)
- 定員 10人(先着順)
- 持ち物 エプロン、タオル(汚れてよいもの)、昼食(飲物)
- 参加無料
- 申込 6/28(水)~7/19(水)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

7月開催

テーマ展

アリジゴク!
~石狩砂丘で生態を暴く~



石狩砂丘で巣穴をつくる、アリジゴク。札幌大通高校生物部の研究成果とともに、生きている姿を見てください。アリジゴクにエサをやってみよう!

- 期間 7月8日(土)~8月27日(日)
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

7月開始

体験講座

縄文文化のくらしを
ジオラマで作ろう



土器・石器などを観察して、縄文文化のくらしをミニチュア模型で作ります。自由研究にもご利用ください。(1人1作品、大きさは10×20cmくらい)

- 日時 8月5日(土) 10:00~15:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生~大人(小学生は保護者同伴)
- 定員 10人(先着順)
- 持ち物 エプロン、タオル(汚れてよいもの)、小筆(3本)、筆洗い、昼食(飲物)
- 参加無料
- 申込 7/1(土)~7/30(日)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

8月開催

体験講座

勾玉作り



勾玉とは、古代の人々が石などで魔除け、装身具等として身につけていたものです。今回は滑石(比較的柔らかな石)で勾玉を作ります。いしかり砂丘の風の会スタッフがお手伝いします。

- 日時 7月29日(土) 10:00~12:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学生以上(低学年は保護者同伴)
- 定員 20人(先着順)
- 持ち物 大きめのレジ袋
- 参加料 500円(教材・保険料込み)
- 申込 7/1(土)~7/14(金)の間に電話で資料館へ(0133-62-3711)

7月開催

編集後記

アリジゴクがエサを食べるところ、恥ずかしながら、初めて肉眼で見ました。もちろん知識としては知ってたけど、意外とダイナミックな砂の動き。掘り出してみるとモジモジとかわいい仕草。この目で見ないと感ずることはできません。TVやネットで知った気にならず、テーマ展の実物を見に来てください。(け)

いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分~午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 入館料 大人:300円、中学生以下:無料
団体料金240円(15名以上)
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、「石狩温泉」下車、徒歩1分(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチユアリ No.53



2017年7月15日発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/